

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	掛田勝彦	経理責任者	増田誠宏
視 察 議 員	増田誠宏			
期 間	令和2年10月9日（金）			
視 察 先	安芸高田市役所、安芸高田給食センター			
視 察 用 務	学校給食調理場について			
視察先対応者	安芸高田市役所 課長他			
概要及び所見	<p>コロナ禍における安芸高田市の神楽振興について商工観光課担当者より説明を受けた。各神楽団において公演中止による収入減が100万から200万程度発生しており、非常に厳しい運営状況である。動画配信の活用・補助事業などにより伝統文化である「神楽」を広島県とも協力して、再開に向けて進めている。</p> <p>本市においても神楽団は複数あり、活動自粛による困窮は同様である。神楽は本市・各地域においても大切な文化芸術・観光コンテンツであり、財政的な面も含めて守っていく必要がある。また、ICT技術を活用して、収入が得られる仕組み作りも考えていく必要があると思われる。</p> <p>八千代町にある安芸高田市給食センターにて視察した。3100食規模の民間委託のセンターであり、建設費は約10億円、H23完成である。保育所等も含めて21施設に提供・配送している。工事概要、人員配置、アレルギー対策、地場産物活用、残食、運営経費など、教育委員会担当者より説明を受けた。</p> <p>本市においても給食調理場の整備に向けて進んでいるが、予算等、整備の進め方に参考になるものであった。特に、アレルギー対応は栄養職員等の十分な配置によりきめの細かい多様な対応で、代替食を原則とし、県内で一番先進的な対応を</p>			

	<p>されている。本市においては除去食の計画となっており、児童生徒の食育の観点からは代替食も検討していくべきである。また、調理場の立地が市内の西寄りにあり、北部までの配送時間がやや長くなっている。配送時間については本市においても少しでも短縮するよう考慮するべきである。地産地消の取り組みにおいてはJA より購入されており、地場産品の活用率は加工品も含めて高くなっている。本市新調理場においても冷凍野菜等の加工品の使用は極力少なくし、加工品も含めて地場産品の活用を推進していくべきであり、仕組みづくりを確実にしていく必要があると思われる。</p>
--	--

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 徳岡真紀

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	経理責任者
視 察 議 員	徳岡真紀	
期 間	2020年 10 月 9日 () ~ 2020年 1 月 9日 () 月 0	
視 察 先	安芸高田市（商工観光課、安芸高田市給食センター）	
視 察 用 務	神楽を中心とした観光振興、学校給食調理場	
視察先対応者	安芸高田市観光振興課 安芸高田市教育委員会	
概要及び所見	<p>【コロナ禍での神楽振興について】</p> <p>安芸高田市には22の神楽団があり、安芸高田市としても、かなり力を入れて取り組んでいる観光事業の一つである。コロナ禍で神楽公演がまったくできない中で、衣装代等多額の費用がかかるため、次年度の収入を視野に入れて、道具や衣装等の購入をされている神楽団が多く、収入が見込めない中で、神楽団の経済状況も逼迫している。そのため、神楽協議会として県とも協力し市独自の支援策も検討されているとのことでした。また、動画配信なども積極的に行い、神楽ファンが離れないよう、努力されていました。</p> <p>【安芸高田市給食センター】</p> <p>安芸高田市の給食センターは八千代町に位置し、H23年に約100億の予算をかけて建設された。3100食規模の給食を作ることができる（現在は2800食程度の提供）センターで、1Fを調理場、2Fを研修室や休憩室、そして見学コースを設けられている。また、地産地消については栄養士が直接現場に出向き、子どもと生産者をつなげる取り組みを活発に行われている。見学コースではその様子が写真で展示されている。また、手作りおやつも今年度からやっと取り組めるようになったとのこと。手作りができる適正な規模と栄養士などの努力が関係あるのではと感じた。敷地内におかずを作る給食センターとご飯を炊く、広島駅弁の施設が併設されており、別々に調理されている。</p> <p>アレルギー対応は除去食をされているとのこと。</p> <p>地産地消に関しては、八千代の道の駅の出荷者さんなどから野菜を提供してもらったりと仕組みを作っておられ、力を入れて取り組まれている。三次市もトレッタなど、既に野菜が集まる仕組みが構築されているところからの提供を検討し、4000食であっても地産地消がしっかりとできるセンターを構築できる可</p>	

能性は十分にあると感じました。また、他市の事例をしっかりと調査研究し、30%以上の地産地消率を目指して、食材もお金も地域で循環できる仕組みを作る必要があると感じました。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	掛田勝彦	経理責任者	増田誠宏
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	令和2年10月9日（金）			
視 察 先	安芸高田市役所・安芸高田給食センター			
視 察 用 務	給食センター見学			
視察先対応者	安芸高田市役所 課長他			
概要及び所見	<p>安芸高田市給食センターの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿革 ・工事概要（施設概要・建設費） ・提供施設 ・人員配置（職員構成・調理スケジュール） ・特徴 ・実施状況（アレルギー対応・食材調達・地場産物） ・給食費（給食センター運営事業費） ・関係組織（安芸高田給食センター運営委員会） ・施設見学 <p>《考察》</p> <p>検討会議の設置から方針の決定、実施設計、工事、開設準備、設置条例、調理開始、そして現状の課題まで詳しく教えて頂きました。</p> <p>三次市が今から給食調理場を整備するにあたり参考にさせていただきます。</p>			

